

インフルエンザウイルスを
30秒以内に99.9%除去
(食環境衛生研究所調べ)

ノロウイルスを
30秒以内に除去
(日本食品分析センター調べ)

除菌・消臭スプレー 検査データ

インフルエンザウイルスに対する効果確認

処置	検査結果 (EID ₅₀ /0.1mL)			
	0min	30sec	5min	30min
大豆でできた除菌・消臭スプレー	>10 ^{4.5}	1 未満	検出されず	検出されず
滅菌生理食塩水	>10 ^{4.5}	-	-	>10 ^{4.5}

ノロウイルスに対する感染価測定結果

試験ウイルス	対象	濃度	log TCID ₅₀ /0.1mL ^{※1}			
			0min	30sec	5min	30min
ネコカリシウイルス (ノロウイルスの代替ウイルス)	検体	6倍希釈液	8.7	検出されず	検出されず	検出されず
	対象	精製水	8.7	-	-	8.5

TCID₅₀: median tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染量
 ※1 作用液1ml当たりのTCID₅₀の対数値

抗菌性試験

生菌種	滅菌率
O-157	99.9%
サルモネラ菌	99.9%
肝炎桿菌	99.9%
黄色ブドウ球菌	99.9%
緑膿菌	99.9%
レジオネラ菌	99.9%

静電気防止試験

試験項目		試験結果			試験方法
		ナイロン	綿	ポリエステル	
半減期 (秒)		1.0未満	未満	定法	JIS L 1094-1997 半減期測定法
摩擦帯電圧	綿	縦	560	25	JIS L 1094-1997 摩擦帯電圧測定法
		横	459	29	
	毛	縦	490	160	
		横	210	150	

基準：半減期が1.0秒以下かつ摩擦帯電圧：3,000V以下または半減期が30秒以下摩擦帯電：1,500V以下 20℃ 40%PH

消臭試験

ガス種	2時間後減少率
アンモニアガス	93%
トリメチルアミンガス	74%
硫化水素	87%

カビ抵抗性試験

試験方法：JIS Z 2911.7 (乾式法)

試料	カビ抵抗性	
	2週間後	4週間後
多機能洗浄剤 大豆で出来た 除菌・消臭スプレー	0	0

供試菌：Aspergillus niger IFO 6341 Penicillium citrinum IFO 6352 Chatmium
globosum NBRC 6347 Myrothecium verrucaria NBRC 6113

肌栄養

栄養素	含有量(中間体ベース)
大豆イソフラボン	2%
α-トコフェロール	2%
大豆レシチン	5%
植物ステロール	2%
リノール酸	58%
オレイン酸	18%